

第2章：町民・関係者の意識

第1節：住民との意見交換

第2節：関係者へのヒアリング

第3節：路線バス・デマンド交通利用者の意向把握

第4節：路線バス乗務員へのアンケート調査

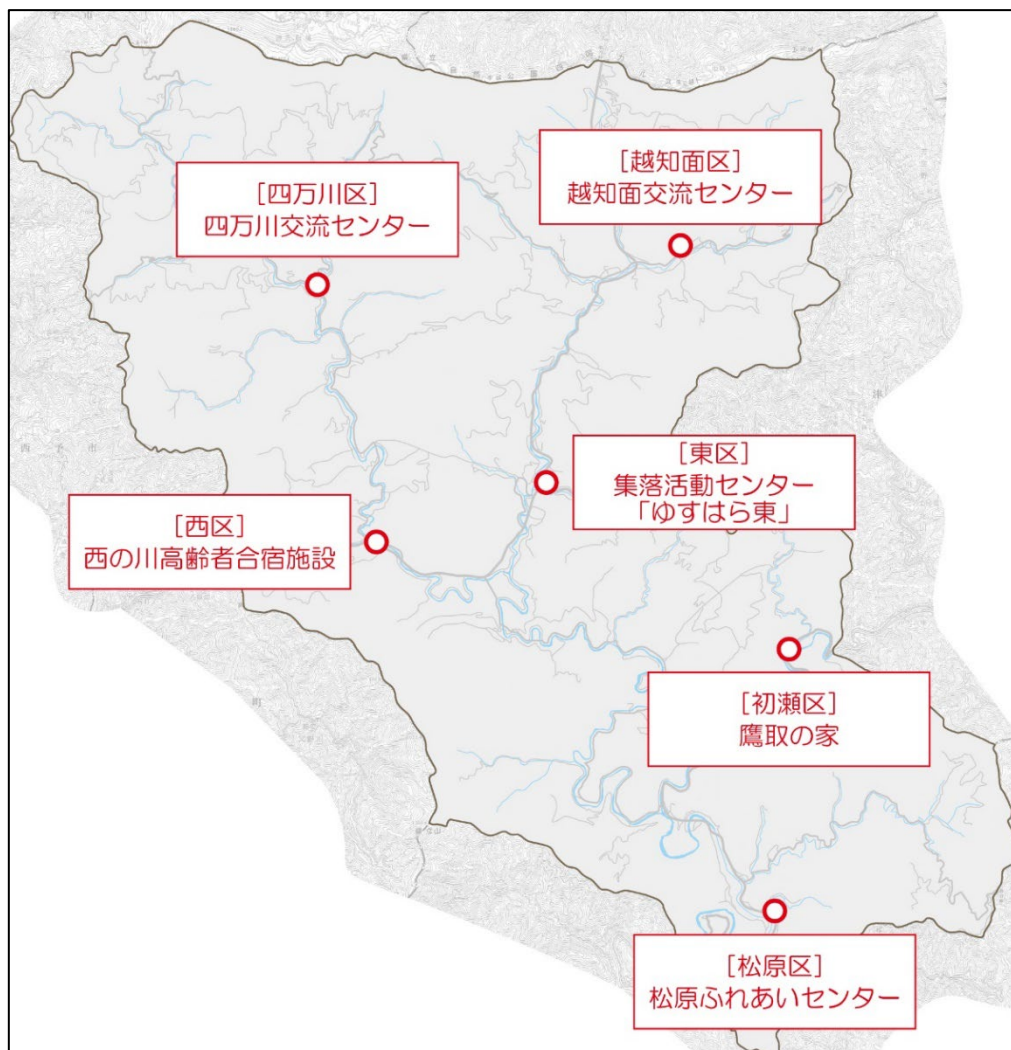
第5節：児童・生徒及び保護者へのアンケート調査

第1節：住民との意見交換

1. 地区別意見交換の開催

地区別に、現状における生活交通網について聞き取りを行うとともに、将来に対して不安に感じていることや行政に対する要望などについて意見交換を行った。

図：地区別意見交換実施場所



写真：意見交換の様子



2. 地区別意見交換で出された意見等

西区

日 時：令和2年8月4日（火）
会 場：西の川高齢者合宿施設
参加者：16名（男性7名、女性9名）
■ 現状の移動手段について ・自分の車で移動している・・・8名（内、3年後運転に不安がある・・・3名） ・バスを利用している・・・4名 ・家族に車を運転してもらう。 ・近所の人をお願いする。 ・タクシーを利用する。 ■ よく行く場所について ・スーパー丸味 ・梶原病院（平日毎日行っている。週に1日） ・とくし丸が週2日来てくれる。 ・愛媛へは若い人がよく行っている。 ・病院のついでに買物をする。基本はとくし丸を利用。 ■ 今の移動手段について ・四万川方面と日吉方面、両方のバスが利用できれば便利だが、四万川方面だけだと便が少ない。 ・色々な所へ行ける分かりやすい時刻表があったら良い。 ・梶原町中心部まで行ければ良い。 ・梶原町内以外へだと車で行く。 ・家からバス停まで距離が1kmある。 ・竹の藪は、朝と夕方帰る便がない。 ・昼、バスを利用して農協に行き、タクシーなど利用して夕方家に帰る。 ■ 困っていることや要望について ・津野町みたいな町営バスを走らせて欲しい。小型車両になれば良いのではないかな。

初瀬区

日 時：令和 2 年 8 月 7 日（金）
会 場：鷹取の家
参加者：11 名（男性 5 名、女性 6 名）
■ 現状の移動手段について ・自分の車又はバイクで移動している…7 名（内、3 年後運転に不安がある…2 名） （内、5 年後運転に不安がある…1 名） ・自分の車で行ける範囲は大洲（愛媛県）、高知市内、須崎まで可能。 ・家族や知人に車を運転してもらう…4 名 ・NPO 法人絆の車を使ったことがある人…3 名 ・高知高陵交通を使ったことがある人…1 名（過去 1 年以内に使ったことがある） ■ よく行く場所について ・スーパー丸味 ・須崎くろしお病院（眼科・整形等の診療科は、医大などから先生が来てくれる日が決まっている） ・大洲（愛媛県） ■ 今の移動手段について ・路線バスが十分でないとの住民からの意見により、NPO 法人絆がデマンド運行を行っている。 ■ 困っていることや要望について ・不都合は特にない。 ■ その他・質問など ・佐川町などでは、既存のタクシー会社との話し合いはどのようなになっているか。又、料金はどのくらいで運行されているか。 ⇒ 佐川町内のタクシー会社は 3 社あり、また町に車両を 3 台購入してもらってそれぞれのタクシー会社に委託する形を取っている。そのうち 2 社は、タクシーの利用者も減らず運行出来ており、もう 1 社にとってもタクシーの利用客は減ったが、コミュニティバスの運行委託が安定した収入源となっている。また運賃は、中心部では 1 回 100 円、郊外では距離に関わらず 1 回 200 円。定額運賃が喜ばれている。 ・梶原町内の移動手段について、情報が 1 つにまとまったものではなく、わかりづらい。

松原区

日 時：令和 2 年 9 月 2 日（水）
会 場：松原ふれあいセンター
参加者：10 名（男性 1 名、女性 9 名）
■ 現状の移動手段について ・自分の車で移動している・・・3 名 ・家族や知人に車を運転してもらおう・・・0 名 ・NPO 法人絆の車を使ったことがある人・・・4 名 ・高知高陵交通を使ったことがある人・・・6 名（過去 1 年以内に使ったことがある） ■ よく行く場所について ・スーパー丸味 ・四万十町（サンシャインハマヤ、サニーマートみやた） ・梶原病院 ・松原診療所 ・とくし丸 ■ 今の移動手段について ・徒歩で移動販売が来るところまで行き、買い物をしている。 ・午前のバスを利用して病院に行き、時間があれば買い物をしている。 ・NPO 法人絆を利用するときは、松原診療所に行く。 ・梶原中心部へ行くときは、路線バスを利用している。 ・乗り換えをして、須崎、日吉方面には行かない。 ■ 困っていることや要望について ・朝が早い。松原を午前 8 時頃に出発してもらいたい。 ・バスの小型化をしたほうが良い。利用者が少ないのもったいない。 ・運賃が高い。梶原中心部まで今は片道約 700 円位だが、片道 500 円ならありがたい。 ・島中までバスが行ってほしい。 ・梶原中心部まで行ければ構わない。 ■ その他・質問など ・デマンド交通では急な対応は出来ないのか。 ⇒ 急な対応は出来ない。タクシーとは違い、決められた時間までに予約が必要であり、また運行できる範囲（梶原から新田まで）が決まっている。

越知面区

日 時：令和 2 年 9 月 10 日（水）

会 場：越知面交流センター

参加者：24 名（男性 3 名、女性 21 名）

■ 現状の移動手段について

- ・自分の車で移動している・・・10 名
- ・家族や知人に車を運転してもらう・・・10 名
（20 名の内、1～3 年以内今の移動手段に対して不安がある・・・15 名）
- ・高知高陵交通を使ったことがある人・・・3 名（過去 1 年以内に使ったことがある）
- ・タクシーを利用している。
- ・バスを利用している。

■ よく行く場所について

- ・岡スエ商店
- ・スーパー丸味
- ・愛媛県鬼北町（広見）
- ・須崎市
- ・梶原病院
- ・とくし丸

■ 今の移動手段について

- ・コロナウィルスの関係で、須崎や宇和島方面にはあまり行かないようにしている。
- ・車で移動している。
- ・行きはバスに乗って、早く帰りたい場合はタクシーか家族に迎えを頼む。

■ 困っていることや要望について

- ・太田戸バス停まで遠い。家から 1k m くらい距離があるのでしんどい。
- ・家からバス停までが遠いので、買い物は移動スーパーで済ませている。
- ・荷物を持って帰るのが大変なので、バスで出かけても買い物はしていない。
- ・バス車両が小型でも良いので、家の近くまで来てもらいたい（太田戸）。
- ・曜日を決めて、週 1 回運行でも構わない。
- ・梶原の町中には飲食店が少ないので、昼には家に帰ってご飯を食べたい。

■ その他・質問など

- ・中土佐町のバスは無料で乗れると聞いたが、実際はどのようなになっているのか。
⇒ 中土佐町の独自施策として、65 歳以上の中土佐町民に対し、事前の届け出を行った人を対象に路線バス及びコミュニティバスの運賃が無料になる取り組みを行っている。結果として、朝の須崎行きのバスの座席が埋まり、立ち客が出るほどになっているが、中土佐町の高齢者は喜んで利用している。

東区

日 時：令和 2 年 11 月 20 日（金）
会 場： 集落活動センター「ゆすはら東」
参加者：34 名（男性 2 名、女性 32 名）
■ 現状の移動手段について ・自分の車で移動している・・・3 名 ・家族や知人に車を運転してもらう・・・14 名 （17 名の内、1～3 年以内に今の移動手段に対して不安がある・・・6 名） ・高知高陵交通を使ったことがある人・・・5 名（過去 1 年以内に使ったことがある） ・タクシーチケットでタクシーを利用している。 ・買い物を家族や知り合いにお願いしている。 ・徒歩。 ■ よく行く場所について ・スーパー丸味 ・梶原病院 ・高知市内の病院（2 ヶ月に 1 回） ■ 今の移動手段について ・徒歩で買い物を利用している。 ・家族が支援センターの電動カートを利用している。 ・仲洞から 1.5 k m 歩いてバスを利用している。 ■ 困っていることや要望について ・病院などに通うのにシルバーカーを押していくのも難しくなっているので、シニアカーなどの移動手段がないものかと思う。 ⇒ 梶原町役場と支援センターで、シニアカーの貸し出しをしている。利用要綱として安全を確認できるよう講習を受けてもらうことになる。利用したい場合、一度梶原町役場総務課まで来てもらいたい。 ・自分で運転していて危険を感じている。2、3 年後には運転免許証を返納しないといけなと考えているが、車の運転をやめたら困ると思う。 ⇒ 運転免許返納後の情報を発信していかなばならないと考える（運転経歴証明書など運転免許証の代わりとなる身分証明書になるなど）。 ・つのバスみたいなバスを梶原でも走らせてほしい。 ・シニアカーを役場や支援センターまで借りにいくのも難しい。 ・国道を渡る横断は、なるべく横断歩道を渡るようしている（2、3 年後には横断が怖くなる）。 ■ その他・質問など ・（役場の）シニアカーの貸し出し料金はどうなっているのか。 ⇒ 個人への貸し出しはしていないが、役場から町中への移動手段として無料で貸し出しをしている。

四万川区

日 時：令和 2 年 11 月 26 日（木）
会 場： 四万川交流センター
参加者：38 名（男性 7 名、女性 31 名）
■ 現状の移動手段について ・自分の車で移動している・・・20 名 ・家族や知人に車を運転してもらう・・・18 名 （38 名の内、1～3 年以内今の移動手段に対して不安がある・・・21 名） ・高知高陵交通を使ったことがある人・・・15 名（過去 1 年以内に使ったことがある） ■ よく行く場所について 買い物 ・スーパー丸味、生協（10 名）、四万川の商店、とくし丸 ・週に 3 日買い物に行く人・・・8 人、週に 1 日買い物に行ければいい人・・・17 人、 毎日買い物に行きたい人・・・0 人 病院 ・梶原病院、広見の病院、宇和島の病院、須崎の病院 ・病院の頻度は月に 1 回から 2 ヶ月に 1 回、歯医者に行くときは 1 回増える。 ■ 困っていることや要望について ・つのバスみたいなコミュニティバスを走らせてくれたら良いと思う。 ・ほとんどの人は用事を午前中の半日で済ませているが、会場にいた 1 人が午後に梶原町内で病院と買い物をして帰るとのこと。 ・新しい移動手段は決まった便があるのか不安。夜まで待たないといけないのか。 ⇒ 運行日の制約ができるが、運行本数を多く確保できるようになるので、安心して利用してもらえるようにする必要があると考える。 ・新しい事業をつくることにより、地元で頑張っているタクシー事業などが辞めていかないか不安がある。今はバスの便数が少ないので、利便性の向上もしつつ地元の事業者も残れるように考えてほしい。 ⇒ 梶原町地域公共交通会議を立ち上げ、地元の事業者や地元の区長にも協議会に参加してもらっている。梶原町内で持続可能な公共交通ネットワークを形成していかなければならないと考えている。 ・日曜・祝祭日にバスが運行していないので、運行してもらいたい。 ・大きな車両でなくてもいい。小回りのきく小型の車両で中ノ川の奥の方まで入ってもらいたい。出来れば安く利用できれば良い。 ・井高地区は朝 7 時 30 分の梶原中心部行きのバスしかない。予約方式でも構わないので奥の地区まで来てもらえる何らかの移動手段があれば良いと思う。 ・本も谷地区、神の山地区に住んでいる人で、バスを利用したくても午前の早い時間に町中に降ろされて、帰りの便の時間は午後まで待たないといけないと聞いたことがある。 ・病院や買い物に愛媛方面にもよく行く。

第2節：関係者へのヒアリング

1. 交通事業者

高知高陵交通
■ 現状について ・須崎方面をつなぐ県補助路線と、愛媛県の日吉への路線の他、越知面方面、四万川方面、松原方面への町内路線を運行している。 ・梶原町内を運行する朝と夕方便はスクールバスの設定で町からの委託を受けて運行しており、それ以外の日中便は自主路線として運行している。学校関係では、プール便（学校と雲の上のプール間を運行）も運行している。また、学校が夏時間と冬時間を設定しているため、スクール設定便の運行ダイヤも夏時間と冬時間に分かれている。 ・路線バスの利用者が減少傾向にあるところに、新型コロナウイルスのため貸切バスの運行が無くなり経営が厳しい。 ・貸切バスの運行が減っているため、現状において乗務員は必要数確保できているが、乗務員の高齢化を避けるためにも定期的な雇用は必要である。県の支援を受けて、県内の他の交通事業者とも連携した乗務員確保の取り組みを行っている。 ・梶原営業所前で 30 c m の積雪があれば運休とする安全規程を設けている。しかし地区によって積雪にばらつきがあるため、運休の判断は難しい。 ・四万川方面と越知面方面のさらに奥の地区は、積雪時には時間通りの運行が難しくなる。また、井の谷地区への道路勾配が急でありガードレールもなく積雪時は危険なため、冬期は井の谷地区への運行を休止している。 ・梶原町内で発行している商品券は、路線バスでも利用は可能である。 ・梶原病院内に高知高陵バスロケを設置している。ただし1月現在、稼働していないため、確認作業を進めている。 ■ 今後について ・子どもの数が減少している現状では、スクールバスの運行委託を中心とする梶原町との契約関係のままでは、近い将来路線縮小が必要な時期がくると考えられる。地域の公共交通網維持のためにも、町との契約関係を現実的なものに変更すべきと考える。 ・積雪に対応した柔軟な運行のために、地区別に運行を判断できる新しい仕組みが必要である。 ・津野町と協力して、四国カルストや天狗高原へのバスによるアクセスを検討するのは必要と考える。 ・町が主導する公共交通再編に関しては、利用者に喜んでもらえる運行体系の実現のため協議に参画し、前向きに検討を進めたいと考えている。
NPO法人絆
■ 現状について ・営業時間：7:00～21:00 ・ドライバーが不足しているため、電話予約を受けた後の配車までの段取りが難しい。 ・高齢者の移動は午前中が多い。 ・新型コロナウイルスの状況でも利用する人は減っていないが、運行回数が減っている。

NPO法人絆（つづき）

- ・松原地区から梶原の中心部まで運行した場合、利用者が現地で用事が終わるまで近くで待機している。初瀬地区では、時間により回送で帰って来ている。一度連絡があれば半日から1日がかりの仕事になってしまう。
- ・利用者はほとんど1人で利用し、乗合利用になることはない。
- ・他のタクシー事業との調整のため、運行開始が当初計画より2年間遅れた。タクシー事業に配慮し、どこへでも利用出来るわけではなく、松原地区や初瀬地区でも利用出来る場所を決めて運行するようにしている。
- ・開始当初は四万十町の土佐大正駅でJRに乗り継いで須崎方面に行けるよう運行時間を設定していたが、大正診療所（白蟻病）受診のための利用があり、町内の病院を利用すべきとの判断から現在は利用出来ないようにしている。

■ 今後について

- ・将来的には社会福祉協議会や梶原町役場が、主体的に運行を担ってもらいたい。

来米ハイヤー

■ 現状について

- ・営業時間：9:00～23:00（1月1日は休み）
- ・車両台数：3台（内、1台はジャンボ車両） 乗務員：4名（内、常勤1名）
- ・利用者は、梶原町内全域と津野町の利用者もいる。目的地まで行きはバスを利用して、帰りはタクシーを利用している人もいる。
- ・以前は利用者が多く、断らざるを得ないこともあったが、今は新型コロナウイルスの関係で売り上げは減っている。いきいきチケットの利用者は当初は月2枚くらいだったが、今は月に60枚くらいになっている。
- ・夜は固定客と観光客が主であるが、利用者は少ない。
- ・ジャンボ車両は、夕方にスクールバスとして松原に運行している。

■ 今後について

- ・いきいきチケットは1年間に24枚（初乗り1.5km）が補助（75歳以上と障がい者）される。タクシーはバスに比べて家の前で乗降できるので使い勝手がいいと思う。バス停まで行ける人はバスを利用してもらえれば良い。バス停まで行けない人は、支援センターで利用者の状況を把握していると思うので、利用者に応じた枚数を配布してあげたら助かるのではないかと考える。
- ・もし、いきいきチケットを増やしたとしても梶原町内で4台（介護タクシー2台、来米ハイヤー1台、四万川ハイヤー1台）をフル稼働することは現状では考えられない。
- ・可能ならいきいきチケットを1度に複数枚使えるようにしてあげても良いのではないかと考える。また、いきいきチケットを増やすことが出来たならば、免許返納者が増えるのではないかと考える。
- ・コミュニティバスのような移動手段が今の梶原町内で必要なのか疑問である。新しく運行を始める場合は、タクシー事業者への配慮をお願いしたい。
- ・公共交通の再編を通じて新しい移動手段を整備するとなった場合、協力は可能であるが、できれば緑ナンバーでの運行を大切に考えて欲しい。

四万川交通ハイヤー

■ 現状について

- ・営業時間：8:00～22:00（1月1日、2日、3日は休み）
- ・車両台数：2台（内、1台はジャンボ車両） 乗務員：1名
- ・平成24年からタクシー事業を前任者から譲り受けて運行している。
- ・普通車を2台所有していたが、維持費がかかるので1台廃車にした。
- ・朝、松谷地区からのスクールバスを運行している。
- ・以前は名古屋や九州方面への貸切運行にも対応していた。
- ・始めた当初は、売り上げは問題なかったが、年々売り上げが減っている。
- ・コロナ禍によりジャンボタクシーの利用が減り、経営が厳しくなっている。
- ・四国八十八ヶ所めぐりを計画していた人が、新型コロナウイルスの関係で運行をキャンセルしている。
- ・後継者に譲れるほど売り上げがないので事業の長期継続は難しいと考えている。

ゆすはら介護タクシー

■ 現状について

- ・営業時間：朝は何時でも可能～18:00
- ・予約があれば何時でも可能、土・日・祝日は休みであるが、予約があれば運行する。
- ・車両台数：2台 乗務員：2名
- ・現状では1日当たり1.5台程度の運行になっており、将来は減車も検討している。
- ・梶原町内中心部の利用者が多い。利用者の荷物の持ち運びや乗降の介助もしている。
- ・運行開始から10年目になる。7年目までは利用者が増えていたが、それ以降利用者が減少しており、経営が厳しくなっている。
- ・須崎市や高知市方面の病院への送迎も行っている。

■ 新しい移動手段について

- ・新たな移動手段の運行が始まると、利用者が減るのではないかと心配である。

2. まちづくりに関連する主体

梶原町商工会
■ 移動手段確保の事業について ・今後事業を計画していくのに、各区長に確認してバスに乗れる人などを把握していくべきと考える。 ・計画推進と平行して検証を行い、5年後には見直していけるようにすべきである。 ・集落活動センターが移動手段の担い手となっていければ良いと考えるが、区長の仕事が増えるのは大変である。商工会が経理などの支援を担える体制にしてはと考える。 ■ 今後について ・梶原が楽しく住み続けられることが重要だと考える。 ・梶原町役場にバスの待合所をつくれればいい。冷暖房とトイレが完備で、しかも座って待つことができる。 ・梶原町には I（アイ）カードがあり、公共交通を利用した人への新しいサービスを検討することは難しいが、共同でなにかサービスを検討することは可能である。 ■ 現状について ・働き手の確保が不足している。企業などでも募集を掛けているが雇用につながっていない。働く場所はあるが、住む家がないのが問題であると考えている。簡易な住居でも構わないので用意する必要がある。 ・町内には廃墟のような空き家は少ない。今は地域の協力で整備出来ているが、それも高齢化で維持が難しくなっている。今までは良かったが、これからどうなるかわからない。 ・新聞などマスメディアの発信で町民のモチベーションが上がっていたが、最近取り上げられることが少なくなっていると思う。
有限会社 丸味ストアー
■ 現状について ・営業時間：8:30～19:00（日曜日は 9:00） ・従業員：30 名（パートなど含む） ・スーパーの滞在時間は 30 分以内が多い。 ・午前 8 時 30 分から 9 時までの間のお客さんは少ないが、8 時 30 分には品出し作業をしているのでお店を開けても問題ないと判断して開店している。 ・梶原病院の診察後、買い物に立ち寄る人は多い。特に火曜日（整形外科）と水曜日（眼科）に集中しているのではないかと考える。 ・1 日何回か、客からの要請を受けてタクシーや介護タクシーを呼んでいる。バス停から家まで遠い人などがタクシーを多く利用している。 ・買い物の荷物を持って帰れない人が町中にいる。配達サービスもしたいが、人員がいないので難しくなっている。 ・年に何回か駐車場内で事故がある。 ・商圈が広がっている。愛媛県や東津野の方からも人が来ている。 ・利用者の移動の流れとして、病院 ⇒ 役場（農協）⇒ 丸味ではないかと考える。

有限会社 丸味ストアー（つづき）
■ とくし丸について ・車両：2 台 ・1 台当たり 1 日 20～24 ヶ所を回り、約 50 名が利用している。 ・運行ルート ①月・木曜日：松原方面、火・金曜日：越知面方面、水曜日：東津野方面、川口と川井 ②月・木曜日：西区、火・金曜日：四万川方面、水曜日：東津野郷内方面（水曜日以外で要望がある場所へ行っている）
梶原町社会福祉協議会
■ 現状について ・決められた仕組みの中、限られた人数で運営しているため新しいことに取り組むことが難しい。 ・包括支援センターは梶原町役場の保健福祉課が担当している。 ■ 公共交通についての意見 ・時刻表がないバス停やバス停自体ない場所があり、バス利用に慣れていない人の利用が難しくなっていると考える。 ・高齢者は病院を起点として考えている。しかし、高齢者が利用したい時刻と現状の路線バス運行時間が合っていないため利用しづらくなっているのではないかと考える。 ・梶原病院のバス停（診療所前）で夏場にバスを待っていた高齢者が、暑さのため具合が悪くなったことがある。病院の待合室で待っている人もいるが、高齢者は素早く移動できないので乗り遅れないか心配になり、結局暑い屋外で待っている。 ・路線バス運転手の運転が荒いという話を聞くことがある。 ・越知面からの路線バスで梶原病院へ行く際、最寄りのバス停が国道沿いになるので、梶原病院回りにしてもらいたいという意見が寄せられている。 ・町中心部の方は、バスの使い勝手がよくないと感じている。 ・東区の方が他の地区へ行くのに移動手段がない。高齢者の運転が危なくなっているため、活動するにも移動手段の確保が大変である。 ・バス停まで出られない高齢者が増加している。 ■ アイデアについて ・雲の上の温泉にアクセス出来るバス便を設定し、町民が気軽に町内の温泉を楽しむことができるようになればいいのではないかと考える。 ・町内を運行する全ての路線バスが、梶原中心部の梶原病院やスーパー丸味、役場前、梶原営業所などを回るように運行してもらいたい。
梶原病院
■ 現状について ・診察時間：8:30～17:00（待合所は 7:00～入館可能） ・休診日：土曜・日曜・祝祭日 ・診察内容：平日は内科、火曜日のみ整形外科（黒潮町）、水曜日のみ眼科（医大病院）、月・水・金曜日は小児科

梶原病院（つづき）
・午前中の利用が多い。 ・診療所の名残で、梶原病院の待合所がサロンの感じになっている。 ・待合所で何時間も座っている人がいる（バスや迎えの車を待っている人もいる）。 ・病院側から言えば、外来患者のバス到着時間は8時30分過ぎが理想ではないか。利用者は早くきて早く帰りたいと思うだろうが、現状では帰りのバスの時間で合う便がない。 ・新型コロナウイルスの関係で売り上げが減っている。 ・薬局は梶原病院の向かいにある2店舗しかない。 ■ 今後について ・協議会などでの要望があれば協力していきたい。 ・待合所へ時刻表など掲載をしてもらって構わない。 ・町中の活性化のために、21時くらいにバスを走らせてはどうかと思う。 ・高齢者は、集落内の決まった場所に集まるようにしてみてもどうかと考える。
マルシェ・ユスハラ
■ 現状について ・ホテル受付横の休憩所（自由スペース）の利用可能時間は9時過ぎ～18時。 ・ホテルの自由スペースは9時過ぎまで宿泊者の朝食会場になっているため、9時過ぎ以降であれば公共交通利用者にもバス待ちなどに利用してもらうことが可能である。 ・当施設では夕食は対応していないため、夕方の時間に雲の上のホテル本館へのシャトルバスを3時間の間に30分間隔で運行している。 ・本館の温泉施設が22時まで利用出来るが、シャトルバスの最終便が20時頃になることで宿泊者から不満の声も上がっている。 ・車で観光名所を案内するのは対応しやすいが、公共交通での案内については対応に困っている。梶原町内の移動は車がないと不便だと思う。 ・部屋の数で1割弱の宿泊者は、公共交通（路線バス）を利用して宿泊に来ている。公共交通を利用して来ている観光客は、その後の移動手段がないので困っている。 ・若い人などは、近くのまろうど館で自転車を貸し出ししてもらって観光している。 ・路線バスでの移動は難しい。タクシーを利用すると料金が高く、また1台しか車両がないためお勧めしていいものか考えてしまう。レンタカーもあるが利用する人は少ない。 ・観光地では四国カルストに対する問い合わせが最も多く、続いて菰ヶ峠となっている。その他にも予約制となっているがみこややセラピーロードがある。 ・併設しているまちの駅ゆすはらでは、日によるが地元の商店などの寿司や餅などを販売している。 ■ 今後について ・町内の人が気軽に利用できる移動手段があれば、町中も活気が出ると考える。 ・移動の待ち時間などホテル横の休憩所を自由スペースとして利用してもらっても構わない。飲食などの持ち込みも特に制限をしていないので、近くの商店などで買ったものを飲食してもらっても構わない。

第3節：路線バス・デマンド交通利用者の意向把握

1. 実施概要

1) 調査の趣旨

本町内を運行する路線バス（高知高陵交通）とデマンド交通（NPO 法人絆）の利用者が、日頃の利用から感じている不満点や改善要望などを把握し、公共交通の利便性向上及び利用者の満足度向上につなげるヒントを得ることを目的として行う。

2) 実施要領

(1) 調査実施主体

梶原町総務課

(2) 調査実施内容

路線バス車内に予め返信用封筒に封入したアンケート調査票を備置し、バス利用者に記入してもらう（乗務員から積極的に手渡し）。

(3) アンケートの対象者

- ・高知高陵交通の路線バスに梶原町内で乗降する人
- ・NPO 法人絆のデマンド交通利用者

(4) 調査実施期間

令和2年8月25日頃～9月28日（返送締め切り）

3) 回収数

運行事業者	回収数	備考
路線バス（高知高陵交通）	18	
デマンド交通（NPO法人絆）	19	

2. 結果とりまとめ

1) 路線バス（高知高陵交通）利用者

(1) 回答者の属性

番号	居住地区		性別	年齢	家族	所持する 移動手段	路線バス利 用頻度	最寄り バス停
1	東区	太郎川	男性	50 歳 台	独居	車	1 週間に 数回程度	太郎川
2	西区	西区	女性	70 歳 台	独居	車、 自転車	1 週間に 数回程度	記念碑 前
3		上西の 川	男性	60 歳 台	その他	車、 自転車	1 週間に 数回程度	小田
4		下西の 川	女性	70 歳 台	独居	自転車	1 週間に 数回程度	西の川 第二
5		広野	男性	50 歳 台	独居	自転車	1 週間に 数回程度	丸太
6	四万川 区	四万川	女性	40 歳 以下	その他	その他	ほぼ毎日 利用	四万川
7		四万川	女性	70 歳 台	独居	その他	ごくたまに	竜王
8		四万川	女性	70 歳 台	無回答	無回答	ごくたまに	細ケ谷
9		四万川	男性	70 歳 台	夫婦	その他	1 ヶ月に 数回程度	細ケ谷
10		坪野田	男性	70 歳 台	その他	無し	ごくたまに	下屋敷
11		東川	男性	80 歳 台	その他	無し	1 ヶ月に 数回程度	東川口
12	越知面 区	太野	女性	80 歳 台	独居	無回答	1 ヶ月に 数回程度	太田戸
13	初瀬区	仲久保	男性	90 歳 以上	夫婦	無回答	ほぼ毎日 利用	無回答
14	松原区	松原	女性	60 歳 台	その他	無し	1 ヶ月に 数回程度	松原
15		松原	女性	80 歳 台	独居	その他	1 ヶ月に 数回程度	松原
16		松原	女性	90 歳 以上	独居	無し	1 ヶ月に 数回程度	太郎川
17	津野町	津野町 新田	女性	70 歳 台	夫婦	その他	1 ヶ月に 数回程度	新田
18		津野町 新田	女性	80 歳 台	独居	車	ごくたまに	新田

(2) 回答者の路線バスから他の公共交通機関への乗り換え【複数回答可】

番号	居住地区		行き先又は具体的な名称
1	東区	太郎川	無回答
2	西区	西区	須崎方面行き、その他方面行き（高知）
3		上西の川	無回答
4		下西の川	須崎方面行き、日吉方面行き
5		広野	須崎方面行き、タクシー、その他（市営バス）
6	四万川区	四万川	無回答
7		四万川	須崎方面行き、その他方面行き（高知）、病院の通院バス（医療センター）
8		四万川	須崎方面行き
9		四万川	日吉方面行き、その他方面行き（宇和島、鬼北）、タクシー、病院の通院バス（宇和島病院）
10		坪野田	須崎方面行き
11		東川	須崎方面行き、病院の通院バス（梶原病院）
12	越知面区	太野	無回答
13	初瀬区	仲久保	病院の通院バス（梶原病院）
14	松原区	松原	無回答
15		松原	須崎方面行き
16		松原	無回答
17	津野町	津野町 新田	須崎方面行き、その他方面行き（高知）、病院の通院バス（高陵病院、日赤）
18		津野町 新田	須崎方面行き、その他方面行き（高知、高岡）、病院の通院バス（くろしお、土佐市、町田）

(3) 回答者の日常の移動先（よく行く場所を順に3ヶ所具体的に）

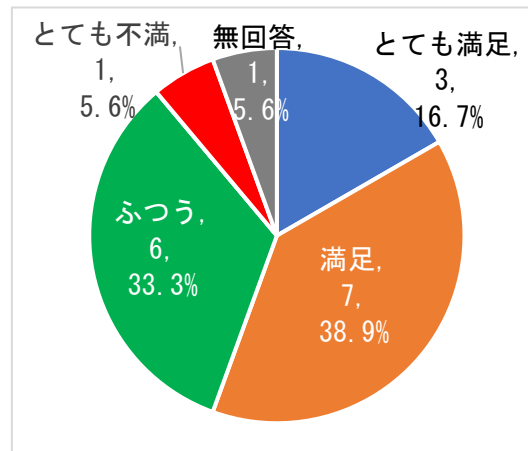
番号	居住地区		第1位	第2位	第3位
1	東区	太郎川	出勤	—	—
2	西区	西区	病院	スーパー丸味	フジ須崎店
3		上西の川	梶原高校	—	—
4		下西の川	郵便局	集落活動センター にここ喫茶	スーパー丸味
5		広野	一陽病院	梶原町内	—
6	四万川区	四万川	梶原病院	地域活力センター ゆすはら 夢・未来館	雲の上の図書館
7		四万川	スーパー丸味	梶原町役場	高知
8		四万川	歯医者	—	—
9		四万川	梶原病院	梶原町役場 買い物	宇和島病院
10		坪野田	梶原病院	スーパー丸味	ゆうちょ銀行
11		東川	梶原病院	スーパー丸味	梶原町役場
12	越知面区	太野	地域活力センター ゆすはら 夢・未来館	病院	スーパー丸味
13	初瀬区	仲久保	梶原病院 梶原町役場	スーパー丸味	梶原郵便局
14	松原区	松原	梶原病院 支援センター	スーパー丸味 にしもり	時計店
15		松原	梶原町役場	社会福祉協議会	スーパー丸味
16		松原	梶原病院	—	—
17	津野町	津野町 新田	梶原病院	スーパー丸味	—
18		津野町 新田	梶原病院	—	—

※ 路線バス利用者のよく行く場所として、梶原病院を■で表示、スーパー丸味を■で表示、
梶原町役場を■で表示

(4) 路線バス利用の満足度

① 運行経路に対する満足度

N=18



とても満足 [具体的な意見や感想]

- ・ 目的の場所に近くて行きやすいので良いと思う。[四万川, 女性, 40 歳以下, その他]

満足 [具体的な意見や感想]

- ・ とても親切。[太野, 女性, 80 歳台, 無回答]
- ・ 路線バスがあって助かる。[松原, 女性, 80 歳台, その他]

ふつう [具体的な意見や感想]

- ・ 運行日程がわかりにくい。土日祝で運行があるなしで、運行時間が違う（夏期間、冬期間）。[松原, 女性, 60 歳台, 無し]
- ・ 今まで通りでよい。[津野町新田, 女性, 80 歳台, 車]
- ・ 須崎～高知行の直通がなくなり不便。[四万川, 女性, 70 歳台, その他]
- ・ 運転手がやさしい。[広野, 男性, 50 歳台, 自転車]
- ・ 宇和島に行く時、前は良い時間があつたが今は不便。

[四万川, 男性, 70 歳台, その他]

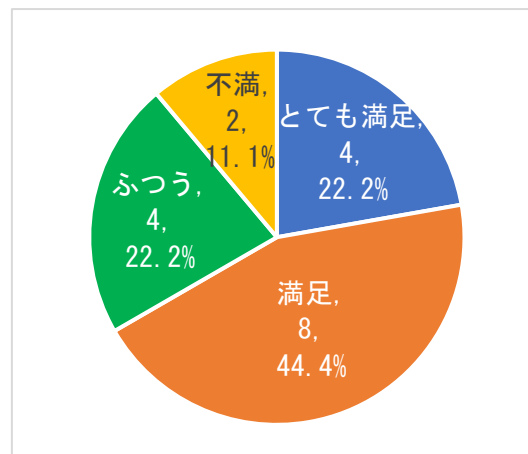
とても不満 [具体的な意見や感想]

- ・ 梶原～久万高原町への路線バスを開通してほしい。この路線が開通すれば松山からの温泉客が雲の上の温泉へと足を伸ばしてもらえる。観光地がもっと発展すると思う。雲の上の温泉は奥道後よりきれいだと言わざる松山方面から来訪者が来ている。

[西区, 女性, 70 歳台, 車, 自転車]

② 運行する時間に対する満足度

N=18



とても満足 [具体的な意見や感想]

- ・小・中・高校生などだいたい8時ぐらいには学校に着くので助かる。
[四万川, 女性, 40歳以下, その他]

ふつう [具体的な意見や感想]

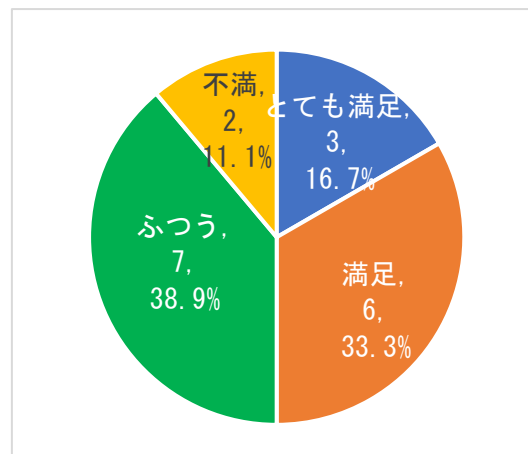
- ・安全運転で運行していると思う。[松原, 女性, 60歳台, 無し]
- ・学校休みの時は朝が早いので大変（梶原病院へ行くとき）。
[四万川, 男性, 70歳台, その他]

不満 [具体的な意見や感想]

- ・10時30分過ぎのバスに乗って須崎方面（11時出発）に行きたいが（銀行等でお金をおろしたい時があるがギリギリで間に合わない）少し余裕をもって11時10分位に出発してほしい。[西区, 女性, 70歳台, 車、自転車]

③ 運行本数に対する満足度

N=18



とても満足 [具体的な意見や感想]

- ・朝は 2 便あり、四万川だと 10 時にもバスが来るので部活が午後 1 時の時など助かる。[四万川, 女性, 40 歳以下, その他]
- ・朝のバスは一般の利用者も利用しているのに、子供達が通学バスと思い 2 人席を譲らず、ひとりが席を占領している。注意してほしい。
[下西の川, 女性, 70 歳台, 自転車]

満足 [具体的な意見や感想]

- ・できれば本数を多くしてほしい。
[上西の川, 男性, 60 歳台, 車、自転車]

ふつう [具体的な意見や感想]

- ・病院は午前中に終わるので、バスに合わせることが難しい。
[津野町新田, 女性, 80 歳台, 車]
- ・本数を増やしてほしい。[広野, 男性, 50 歳台, 自転車]
- ・坪ノ田に昼頃、バスがはいってほしい。[四万川, 女性, 70 歳台, 無回答]
- ・日、祝のバスが 10 時頃にはないのが少し不満。買い物に行く時にバスがない。
[四万川, 男性, 70 歳台, その他]

不満 [具体的な意見や感想]

- ・7 時頃に 1 本、14 時に 1 本なので、この間に運行便があると便利であると思う。
[松原, 女性, 60 歳台, 無し]
- ・祝日や日曜日に出かけたいのに 10 時 30 分の便がなく、ついつい行くのを止めるようになった。町内に出かけられない。特に松原とか。
[西区, 女性, 70 歳台, 車、自転車]

(5) 本町内におけるバス改善のアイデア

[具体的な意見]
・利用者が少ないが、移動手段のない者としては改善をしてほしい。又、現状のバスからさらに小型の車両でもいいのではと思う。路線バスの廃線には強く反対する。 ・運転手も利用者もさわやかな挨拶をしていて、心から好感が持てる。 [松原, 女性, 60 歳台, 無し]
・路線バスに対しては、私は停留所の所で乗るが、バスが停車しているときにどこ方面に行くのかわからず困ってしまう時があるので、行き先をしっかりと表示してほしい。 ・夏休みには 17 時のバスで帰ることが多く、学童に行っている小学生が席立ちをしたり、大きな声を出しているので注意してほしい。席を立つと危ない。 [四万川, 女性, 40 歳以下, その他]
・須崎方面によく行くが、特にフジ須崎店手前の新庄駅前バス停を利用する。そこは葉山方面からの他の利用者也利用しているが、高齢者たちが座るベンチもなく、雨、風にさらされて、又日差しの強いなかでも立ちっぱなしでバスを待っている。何度問い合わせても何の改善もない。利用者あつての運行だという事を忘れていてのではないか。高齢者はこれからもっと増える。ぜひとも改善をして欲しい。 ・町のバス運賃について、梶原町は広く、奥の地区で暮らす人は町まで出るのに大変である。更にタクシーを利用する事でもっとお金がかかるため、町内の催しなどにも行く度合いが少なくなる。どうかこの点をふまえて子どもたちばかり優先せず、老人や一般の人々の運賃も低料金にしてほしい。[西区, 女性, 70 歳台, 車、自転車]
・季節毎に日帰りバス旅行のプランをたててはどうか。町に言うべき事だが、議員達もたまに乗車して色々改善すべき所（バス停など）を見つけ、アイデアを出してほしい。バス会社だけの問題ではない。[下西の川, 女性, 70 歳台, 自転車]
・バス停関係なく手をあげたら停まってほしい。 [上西の川, 男性, 60 歳台, 車、自転車]
・運転手は、言葉遣いがよく、親切でとても良いといつも乗った時に感じている。 [四万川, 女性, 70 歳台, その他]
・過労運転はしない方がいいと思う。休日をとるのも必要と思う。 [広野, 男性, 50 歳台, 自転車]
・最近客が少ないので心配。でもバスが無くなっては私達の移動手段がなくなるので運行は続けてほしい。[四万川, 男性, 70 歳台, その他]

2) デマンド交通（NPO法人絆）利用者

(1) 回答者の属性

番号	居住地区		性別	年齢	家族	所持する 移動手段	デマンド 交通 利用頻度	最寄り バス停
1	初瀬区	初瀬	女性	70 歳 台	夫婦	車	無回答	無回答
2		初瀬	男性	50 歳 台	その他 世帯	車	ごくたまに	大野地
3		初瀬	女性	80 歳 台	独居	車	無回答	初瀬西
4		初瀬区	男性	80 歳 台	夫婦	車	ごくたまに	大野地
5		初瀬 本村	男性	60 歳 台	夫婦	車	ごくたまに	初瀬
6		初瀬 本村	女性	50 歳 台	独居	車	ごくたまに	初瀬集会 所前
7		東初瀬	女性	70 歳 台	独居	車	ごくたまに	無回答
8		初瀬東	男性	70 歳 台	夫婦	車	無回答	仲屋
9		初瀬東 影野地	女性	70 歳 台	無回答	無し	ごくたまに	初瀬東大 野地
10		影野地	女性	70 歳 台	無回答	車	無回答	無回答
11		大野地	男性	60 歳 台	独居	車	ごくたまに	大野地
12		上折渡	男性	70 歳 台	夫婦	車	無回答	津野町高 野
13	松原区	松原	女性	70 歳 台	夫婦	車	ごくたまに	松原
14		松原	無回答	70 歳 台	夫婦	車、 自転車	ごくたまに	松原
15		松原	女性	80 歳 台	独居	無し	1 ヶ月に 数回程度	ふれあい センター
16		松原	女性	80 歳 台	無回答	無し	1 ヶ月に 数回程度	松原
17		松原	女性	70 歳 台	独居	車	ごくたまに	ふれあい センター
18	無回答	無回答	女性	60 歳 台	独居	車	無回答	無回答
19		無回答	男性	70 歳 台	独居	無し	1 ヶ月に 数回程度	松原

(2) 回答者の路線バスから他の公共交通機関への乗り換え【複数回答可】

番号	居住地区	乗り換えの交通機関
1	初瀬区	初瀬 無回答
2		初瀬 無回答
3		初瀬 病院の通院バス（無回答）
4		初瀬区 須崎方面行き、病院の通院バス（北川眼科）
5		初瀬 本村 無回答
6		初瀬 本村 須崎方面行き
7		東初瀬 須崎方面行き、その他（高知の病院、子供の所）
8		初瀬東 無回答
9		初瀬東 影野地 須崎方面行き
10		影野地 無回答
11		大野地 無回答
12		上折渡 その他方面行き（梶原）
13	松原区	松原 無回答
14		松原 タクシー
15		松原 無回答
16		松原 須崎方面行き
17		松原 無回答
18	無回答	無回答 無回答
19		無回答 須崎方面行き、その他方面行き（高知）、 病院の通院バス（梶原病院）

(3) 回答者の日常の移動先（よく行く場所を順に3ヶ所具体的に）

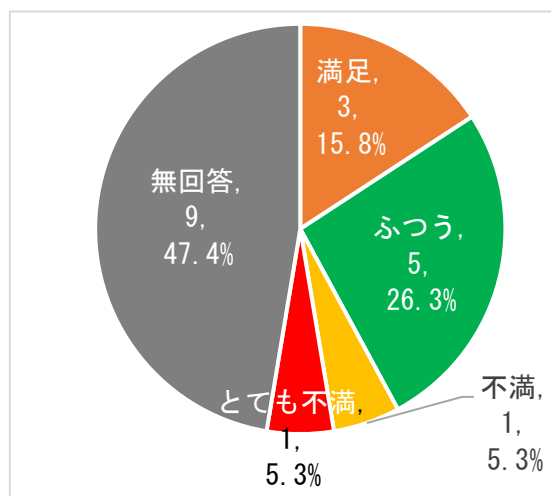
番号	居住地区	第1位	第2位	第3位
1	初瀬区	初瀬	—	—
2		初瀬	松原ふれあいセンター	—
3		初瀬	—	—
4		初瀬区	買物	病院
5		初瀬本村	—	—
6		初瀬本村	高知市内	—
7		東初瀬	梶原病院	高知市内
8		初瀬東	—	—
9		初瀬東影野地	梶原病院	—
10		影野地	—	—
11		大野地	—	—
12		上折渡	梶原町役場	病院
13	松原区	松原	—	—
14		松原	梶原町内	—
15		松原	梶原病院	歯科
16		松原	スーパー丸味 梶原町役場	—
17		松原	—	—
18	無回答	無回答	—	—
19		無回答	梶原病院	スーパー

※ デマンド交通利用者のよく行く場所として、梶原病院を■で表示、スーパー丸味を■で表示、梶原町役場を■で表示

(4) デマンド運行利用の満足度

① 利用方法（予約が必要なことや行き先など）に対する満足度

N=19



満足 [具体的な意見や感想]

- ・大雪で運転に自信がない時や遠出の時に助かる。[初瀬本村, 女性, 50 歳台, 車]
- ・思う時間に合わせる。[東初瀬, 女性, 70 歳台, 車]

ふつう [具体的な意見や感想]

- ・私としては運転手なので。[上折渡, 男性, 70 歳台, 車]

不満 [具体的な意見や感想]

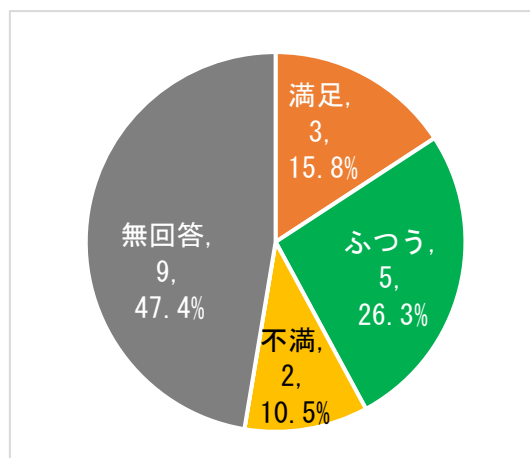
- ・定期的な乗り物が必要。[初瀬区, 男性, 80 歳台, 車]

とても不満 [具体的な意見や感想]

- ・自宅近くまで来ない。バス停まで歩いて 10 分。[松原, 無回答, 70 歳台, 車、自転車]

② 運行する時間に対する満足度

N=19

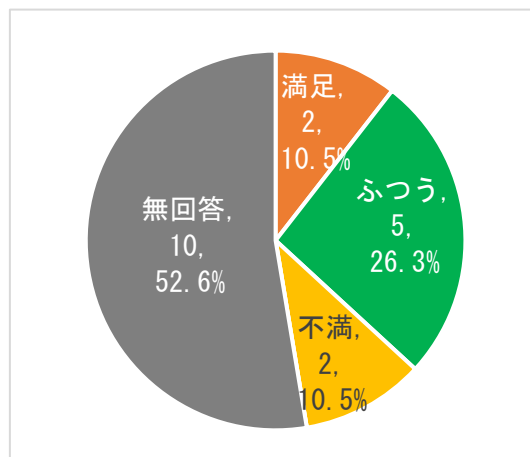


不満 [具体的な意見や感想]

- ・ 学校バスとの運行は時間的に難しいと思う。[初瀬区, 男性, 80 歳台, 車]

③ 運行本数に対する満足度

N=19



満足 [具体的な意見や感想]

- ・ 地域の人々の利用状況を見ていると、目的が達成出来ていると思う。
[初瀬本村, 女性, 50 歳台, 車]

不満 [具体的な意見や感想]

- ・ バスの大きさを替えてでも運行してもらいたい。[初瀬区, 男性, 80 歳台, 車]
- ・ 人口が少なくなり、利用者があまりいない。[松原, 無回答, 70 歳台, 車、自転車]

(5) 本町内におけるデマンド運行改善のアイデア

[具体的な意見]
・運転手の年齢が高齢となってきたこと。[上折渡, 男性, 70 歳台, 車]
・廃止となっては困るので遠くない内には利用する日が誰しも来ると思う。知恵を出し合い協力しながら存続して欲しい。運転手さんのモチベーションも心配。 [無回答, 女性, 60 歳台, 車]
・通院、食糧品の確保、集会等への参加の機会が確保できていればよいのではないか。各区、週に 1 回位の頻度で「温泉行き」バス（小型）が走ると健康増進、集いの場の確保に有効なのではないか。[初瀬本村, 女性, 50 歳台, 車]
・デマンド交通とはなんなのかわからないが、「絆」のことなら数年後の運転手はどうなる。数人の人たちに無理してもらっていると思う。[初瀬, 男性, 50 歳台, 車]
・10 人以下で乗れる小さい車はどうか。今日はスーパーなどを時間で回るなどちょっとした工夫をしたらどうか。[松原, 無回答, 70 歳台, 車、自転車]
・バスの待合所について、冬（寒い時）、夏（暑い時）に休憩所がほしい。足が悪い人や松葉杖になった時、待合所があればいいと思う。今バスで病院へ行っている方たちもそのように希望している。料金はせめて往復 1,000 円になればいいと思う。私が車に乗れなく（運転できなく）なれば、窪川町へ行きたい。月 1 回でもお買い物や病院行きのバスがあると楽しい。ハマヤまで行くと松葉川温泉のバスが月曜日にある。図書館や雲の上の温泉も、松原の人で行ったことのない人たちがいる。 [松原, 女性, 70 歳台, 車]
・できれば運賃を安くしてほしい。[東初瀬, 女性, 70 歳台, 車]

第4節：路線バス乗務員へのアンケート調査

1. 実施概要

1) 調査の趣旨

路線バス利用者のアンケート調査の回収数が少なかったことから、それを補充する意見及びアイデアとして、本町内を運行している高知高陵交通の路線バス乗務員全員を対象とするアンケート調査を実施した。

2. 結果とりまとめ

(1) 本町内をバスで運行しているときに、路線や運行する時間帯によって危険を感じる ことがあるか

町中心部から大越分岐にかけての区間を挙げる意見が多くなっている。また、夕方の時間帯に危険を感じる例が多くなっている。

[具体的な意見]	
・ 平日、17 時の最終便が、診療所前～大越分岐間の交通量が多く、小中学生の歩行者の多さ、見通しの悪さと合わさって危険だと思ふことがある。	
・ 特に冬時間の際に、梶原橋～大越分岐間の区間においては、帰宅時間帯と重なるため、危険を感じる場面がある。狭い道幅のわりには裏道として交通量が多くなっていると思う。	
・ 街灯のない道で人が歩いていたり、道幅の狭い場所、佐渡～大向間。	
・ 朝、学校に行った時、保護者の車もどんどん入ってくるので混雑する。	
・ 帰宅ラッシュ時（17 時以降～17 時 30 分頃）。	
・ 乗務する路線においては、トンネルの中での走行。大型車とのすれ違いは危険を感じる場所がある。	
・ 国道 197 号のトンネル内は狭く暗いので、歩行者など居れば、直前まで見えないこともある。太郎川付近の下り坂もきついので冬場は特に気をつかう。雨の日の夜間は、ロービームでは、バス停付近の直近まで見えない（バス停が目立たない）。	
・ 現在は四万川、松原、越知面方面の走行はないが、松原線の走行時は注意が必要。	
・ 積雪の時。	
・ 朝晩のバス運行時、道路が狭いし交通量も多く、歩行者もいるので危険を感じる。役場前～四ツ角～診療所前～大越分岐の間。また、梶原学園において、子供の送迎をする保護者の車が多く危険を感じる時がある。	

(2) 本町を運行していてバス利用者から、運行やサービスについて問い合わせられる内容
や要望

スクールバス設定便は、学校の夏時間と冬時間に合わせて運行時間を変更しており、そのことに対する問い合わせが多くなっている。また、須崎から先、土佐市や高知市方面への乗り継ぎ利用に関する意見も多くなっているようである。

[具体的な意見]
・ 久万高原町方面への接続ができれば良いという要望を多数聞いている。
・ 学校休みの日の時間や運行経路、通過時刻。
・ 夏時間と冬時間が切り替わる時に、最終便の出発時間についての問い合わせ。
・ 運行する便数、乗り継ぎのスムーズ、バスに乗って出て行っても帰りの便まで時間があり結局タクシーになってしまう。
・ 役場の場所やマルシェなどの場所への行き方を聞かれる。高岡線への乗り継ぎの件。
・ 梶原～須崎から乗り継いで高知に行く人の時間確認。乗り継ぎ場所が寒いという意見あり。
・ 梶原から高知へ行く時。乗り換えが2回もある事（須崎と高岡）。
・ 夏時間、冬時間、学校休の時など、バス運行時間変更について聞かれることが多い。
・ 高知まで何回も乗り換えなくてはいけなくなったので、須崎から汽車で行く。

(3) 安定した運行のためにバス利用者に守ってもらいたい内容

走行中の席の移動や乗務員への話しかけについて意見が集中している。また、バスを待っている際に乗車の意思をはっきりと伝えて欲しいという意見もだされている。

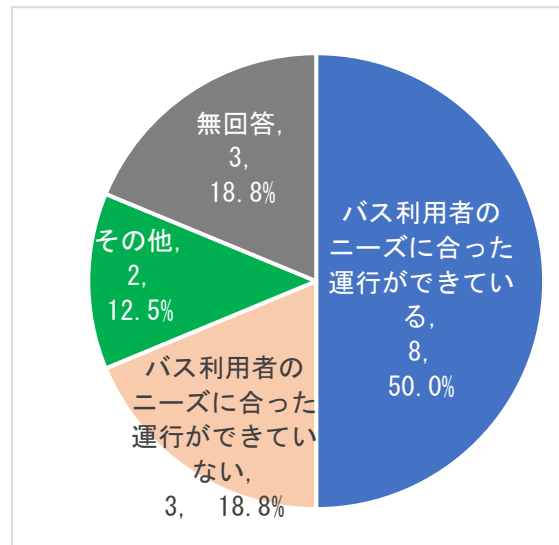
[具体的な意見]
・ 走行中の席の移動はやめてほしい。バスが止まるまで待たずに移動することも。
・ たくさんの人に乗ってほしい。
・ 停車前に席を立つ事。走行中に席を替える事。
・ 走行中は立たないでほしい。
・ 積み残しを防ぐためにも、時間にはバスからハッキリ見える所に出ていてほしい。木の陰とか利用者からバスが見えていてもバス乗務員から見えない時がある。フリー乗降の場所は意思表示をハッキリしてほしい。
・ バス停以外でのフリー乗降の場合、手前から乗車の意思表示をしてほしい。物陰などにかくれている時は一歩前に出て、できれば手を上げるなどしてもらいたい（夜間などはライトを振ってもらえればありがたい）。
・ 居住地、交差点における質問などの声掛けしてくることをやめてもらいたい。
・ 運行中席を立たないでほしい。
・ バス停の近くで待つ、手を上げて合図してもらおうなど、乗る時になるべく乗務員にわかりやすくしてもらえるとありがたい。
・ 一般の利用者が乗車の子供達に話しかけてにぎやかになり、他の利用者が嫌な気分になったり、子供達が動くので危ない。

(4) 本町内を運行するバス路線がバス利用者の移動ニーズに合った運行ができているか

① 運行経路について

運行経路について「利用者のニーズに合った運行ができている」と回答した人が半数になっている。一方で、一部の地区からは運行を要望された経験を持つ乗務員もいることがわかる。

N=16



バス利用者のニーズに合った運行ができている [具体的な意見]

- ・ 必要な場所への運行はできていると思う。また、不満を言われた事はない。

バス利用者のニーズに合った運行ができていない [具体的な意見]

- ・ 隅から隅まで行きわたれてないということは、ニーズに合っていないと思うが、無理だと思う。
- ・ 地区の隅々まで網羅できているとはいい難いため。
- ・ 路線の延長をしてくれとの要望があった（本も谷）。

その他 [具体的な意見]

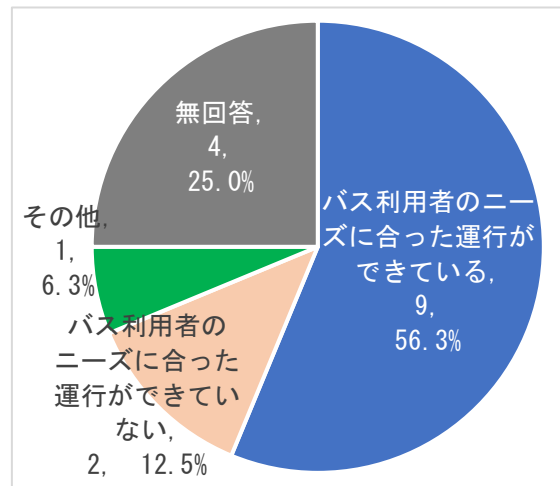
- ・ 路線が不足しているので今の所わからない。
- ・ 太田戸について、もう少し奥まで来てほしい。文丸にも入ってほしいと言われたことがある。不満や要望的なものではなかった。

② 運行ダイヤについて

運行ダイヤについて「利用者のニーズに合った運行ができている」と回答した人が半数を超えている。

利用者からの要望として、病院での診察が終わったタイミングで帰りたいといった声が出されている。

N=16



バス利用者のニーズに合った運行ができている [具体的な意見]

- ・通学、通院で利用者に無理のない時間帯で運行できていると思う。

バス利用者のニーズに合った運行ができていない [具体的な意見]

- ・全路線、早朝、午前、昼、午後、夕方（最終）あればニーズに合うと思うが、無理だと思う。
- ・運行経路ともにわかりにくいと思う（夏時間、冬時間、学校休など）。

その他 [具体的な意見]

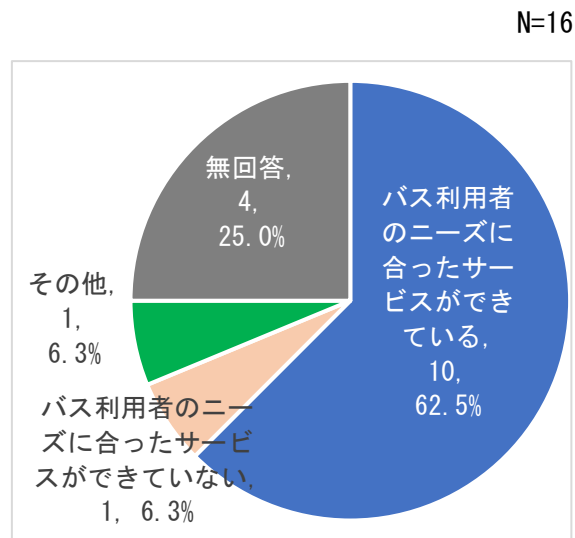
- ・病院での診察が終わってからバスの帰り便を待つ時間が長いとの事。

無回答 [具体的な意見]

- ・どうしても便数が少ない事もあり、時間に対応できてない。行き帰りのタイミングが合わない。

③ 運賃について

運賃について「利用者のニーズに合ったサービスができている」と回答した人が半数を超えている。



バス利用者のニーズに合ったサービスができている [具体的な意見]

- ・ 不満を言われることはない。適正価格だと思う。

バス利用者のニーズに合ったサービスができていない [具体的な意見]

- ・ 運賃が高い。年金生活者の人には、結局便もらいになったり、ついでに乗せてもらったりしている。

その他 [具体的な意見]

- ・ 運賃がニーズに合う、合わないの理解ができない。

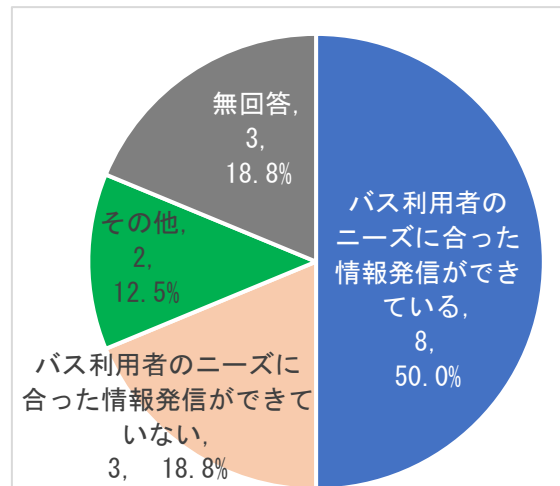
無回答 [具体的な意見]

- ・ 利用者から言われた事ではないが、料金は高いと思う（高知市内などに比べて）。

④ 情報発信について

情報発信について「利用者のニーズに合った情報発信ができています」と回答した人が半数になっている。

N=16



バス利用者のニーズに合った情報発信ができています [具体的な意見]

- ・最近では、コロナ対策など、待合所や車内貼り紙で十分に発信できていると思う。

バス利用者のニーズに合った情報発信ができていない [具体的な意見]

- ・独自のキャンペーンなども考えるべき（運転免許証返納者に対するサービス、コミュニティバスとの連携など、利用者が利用しやすい環境を考えてみる）。
- ・すべての利用者に対し、なかなか情報が伝わっていない。こちらが説明した時初めて聞いたと良くいわれる。
- ・利用者が減ってきている事は、ニーズに合っていないという事だと思う。

その他 [具体的な意見]

- ・ニーズに合った情報発信の意味がわからない。

(5) 朝夕のスクールバスを兼ねた運行便について、通学している児童や学生の利便性確保及び快適な通学のために、改善したら良いと思うものや新しい提案など

丁寧な情報発信などを通じて運行を知ってもらうとともに、学校行事や部活動に合わせて土日祝日の運行の必要性も提案されている。

[具体的な意見]
・スクールバスと路線を一緒にするのに無理があると思う。学校が休みだから無いというのは、ニーズに合っていないのでは。
・土日祝日でも部活動などの活動がある場合は、通常運行した方が良いと思う。
・バスに乗車中のマナー（道徳的）を家や学校でも教育してほしい。
・自分の行きたい場所がどのバス停で降りたいかわからない人が多い。どの線に乗ったら目的地へ行けるか良くわからないようなのでもう少し細かい情報があればと思う。ホームページも説明不足のようである。県外からの利用者向けにも。
・スクールバスに乗務していないのでわからない。

(6) 直接バス利用者と接している乗務員として、運行会社からバス利用者に運行情報や新しいサービスをお知らせするために最も効果的であると感じる手法

高齢者への情報発信の配慮や、車内での情報提供などが提案されている。

[具体的な意見]
・お年寄りにはバスロケを見ることができない人が多い。情報がデジタル化しているなか、高齢の利用者が取り残されるのはどうかと思う。
・待合室や車内での貼り紙で十分だと思う。
・町内放送が一番効果的だと思う。
・営業所やバス車内で告知するだけでは、利用者にしか伝わらないので、広報や行政放送を利用する。
・車内への掲示、ホームページの活用。
・情報を共有し、営業所間で同じ取り組みで同じ方向へ向かっていってほしい。両営業者（梶原と須崎）が協力し合い、やっていってほしい。
・地元での常会や会合などで、行政なども協力してもらいバスのPRに努める。なかにはバスへの乗り方がわからない人も居ると思うので、そういった場所でレクチャーなどしていけば、より親しみもわいてもらえると思う（学校なども同じと考える）。興味を持ってもらうことは大切だと思う。
・バス車内での文章の配布。
・車内に「お知らせ」などを貼っていても、読む人は少ないのではと思う。乗降時に運転手が一声掛けたり、地区の回覧でまわしたりしたら良いのではないかなと思う。バス時間、運賃の変更など。

(7) 本町内を運行するバス路線（運行経路、運行ダイヤ、バス停情報、その他情報発信などについて）をより良くするための取り組み

現状より広報の重要性が指摘されている。

[具体的な意見]
・補助があるからといって、どんどん走られては困るという町の考えと思うが、利用者が1人でもいれば走る。考えの違いがあるのに提案してもという気持ちになる。
・バス停標柱の設置及び整備。
・情報発信として町の広報を利用させてもらう。
・広報や有線での発信と文章によるバス車内配布。

(8) 乗務員が高知高陵交通での勤務を、より快適で充実して働けるために考える会社に対する要望や意見

地域を挙げて移動手段確保について考える必要性を提示されている。また、会社内での改善や調整の必要な項目も提示されている。

[具体的な意見]
・人の命を預かる仕事。利用者も少なく、補助でやりくりしている会社。会社に要望でなく、梶原町がバス路線を必要としているかしていないか、どこまで町民の移動手段の確保に真剣に取り組んでいるか知りたい。
・現状快適なので、特に要望などはない。
・バス停に表示している時刻も、回送の場合は表示しないという事が利用者からすればわかりにくいのではないか。学校休や土、日、休日もわかりにくいと思う。方向幕の表示も経路がわからなくて間違っ乗る利用者もいる。
・採用、運転手の若返りと運転手の必要定数の確保。
・長く勤務した後でないと良くわからない点もあるので、その時にお願いしたい。個人的には、やりたい事もあるので、それは又、別の時にお願いしたい。
・1日の拘束時間が長い。梶原と須崎での協力体制が少ない。
・毎日の拘束時間が長いため、早く終わる便がほしい。
・有給の消化などを考えると、もう1人本社営業所の人員を増やした方がいいと思う。給料との兼ね合いもあり、難しい所か。
・給料が安過ぎないか。

第5節：児童・生徒及び保護者へのアンケート調査

1. 実施概要

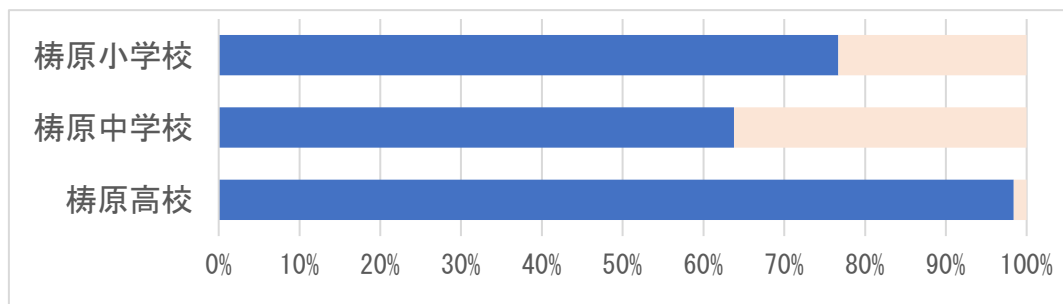
(1) 実施方法

町内の小学生・中学生・高校生とその保護者に対して、アンケート調査票に依頼文章を同封し、学校を通じて配布・回収を行った。

(2) 配布枚数と回収数

学校	配布枚数	回収数	回収率	備考
梶原小学校	133	102	76.7%	無効数 4
梶原中学校	69	44	63.8%	無効数 2
梶原高校	124	122	98.4%	
	326	268	82.2%	

図：回収率



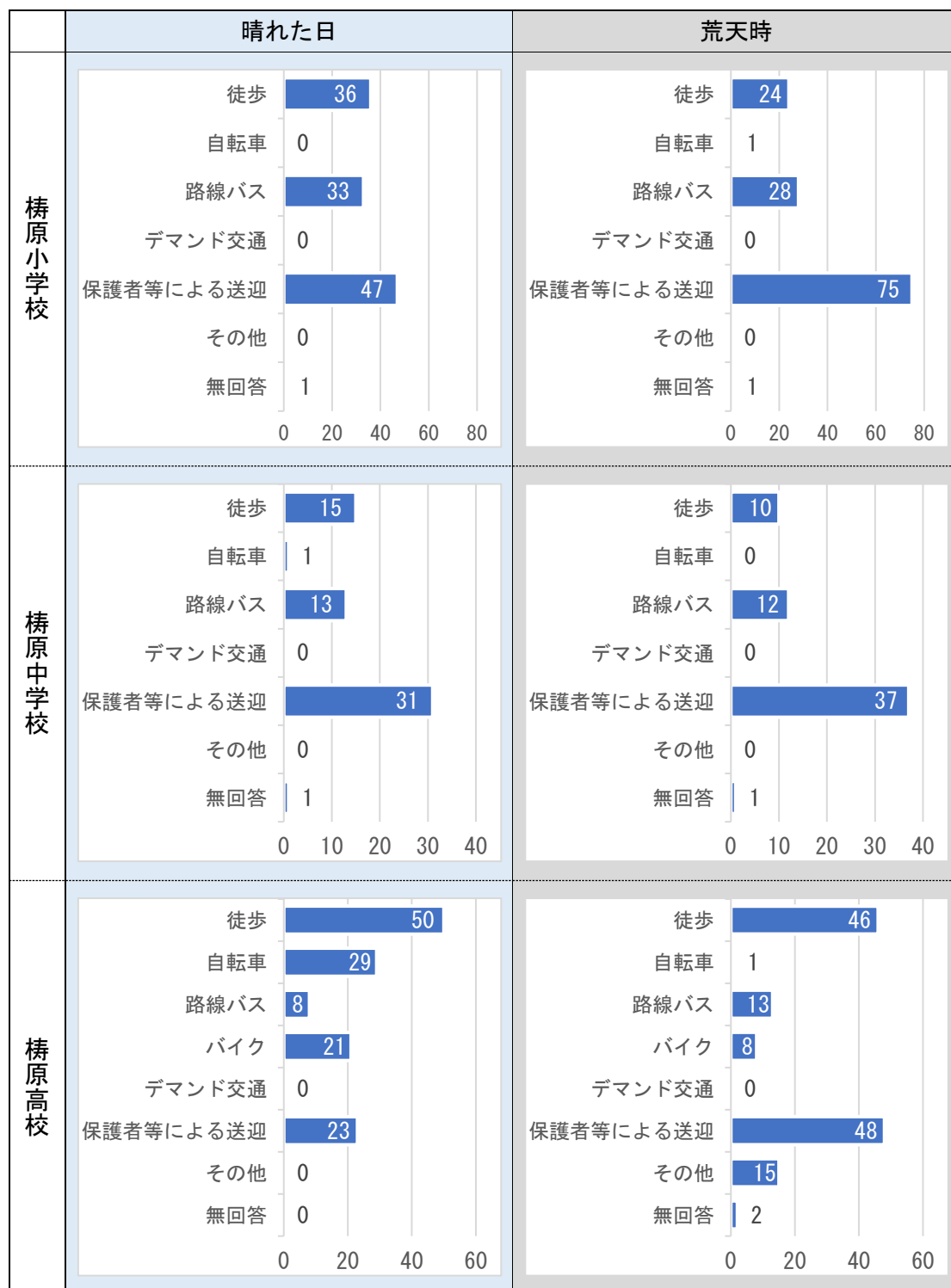
2. 結果とりまとめ

1) 通学について

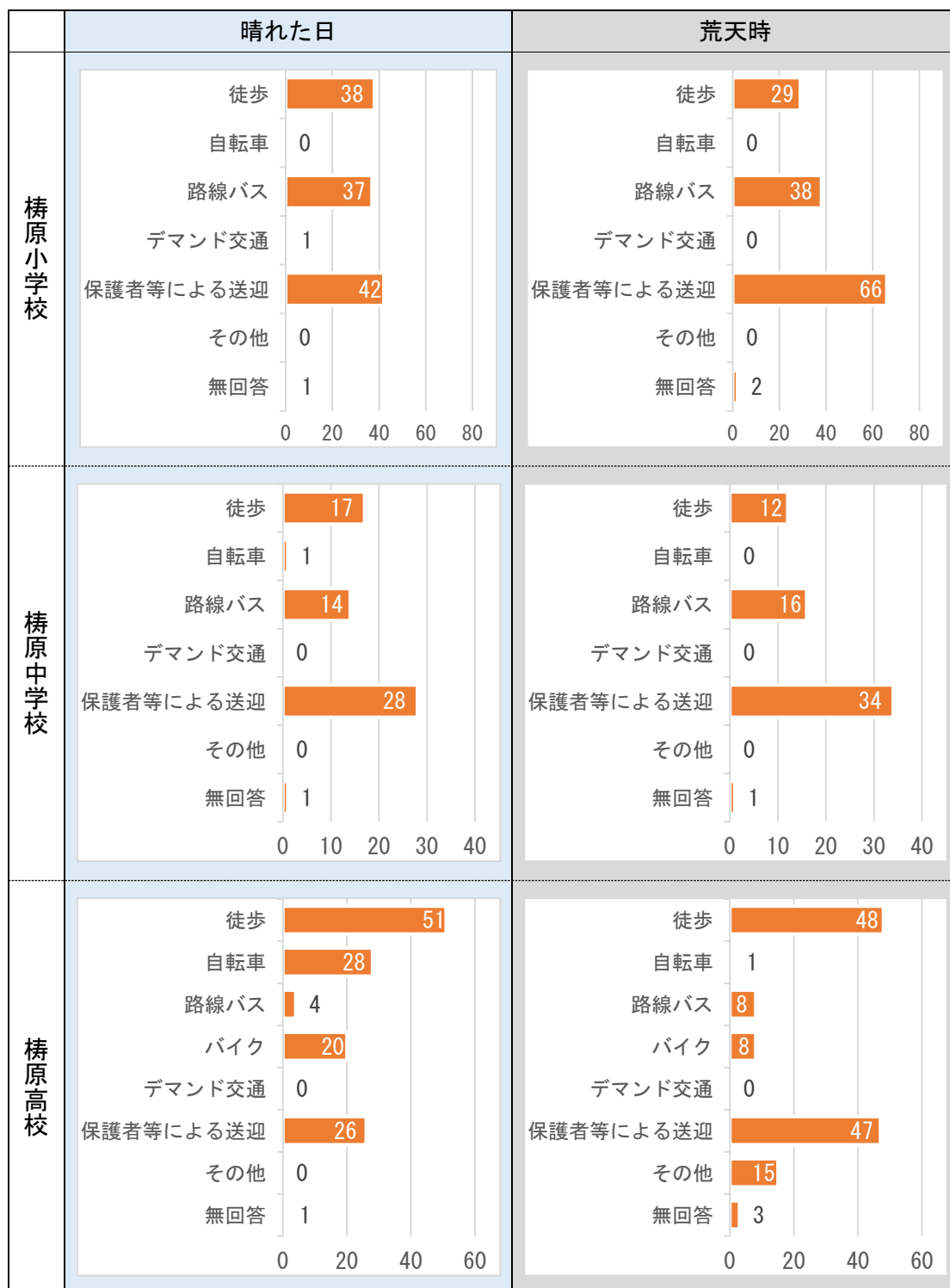
(1) 天気による通学手段の違い

全体的に晴れた日は、徒歩による通学が多いが、雨の日などは徒歩通学が減り、保護者による送迎が多くなっている。

図：晴れた日と荒天時の通学方法〔登校時〕

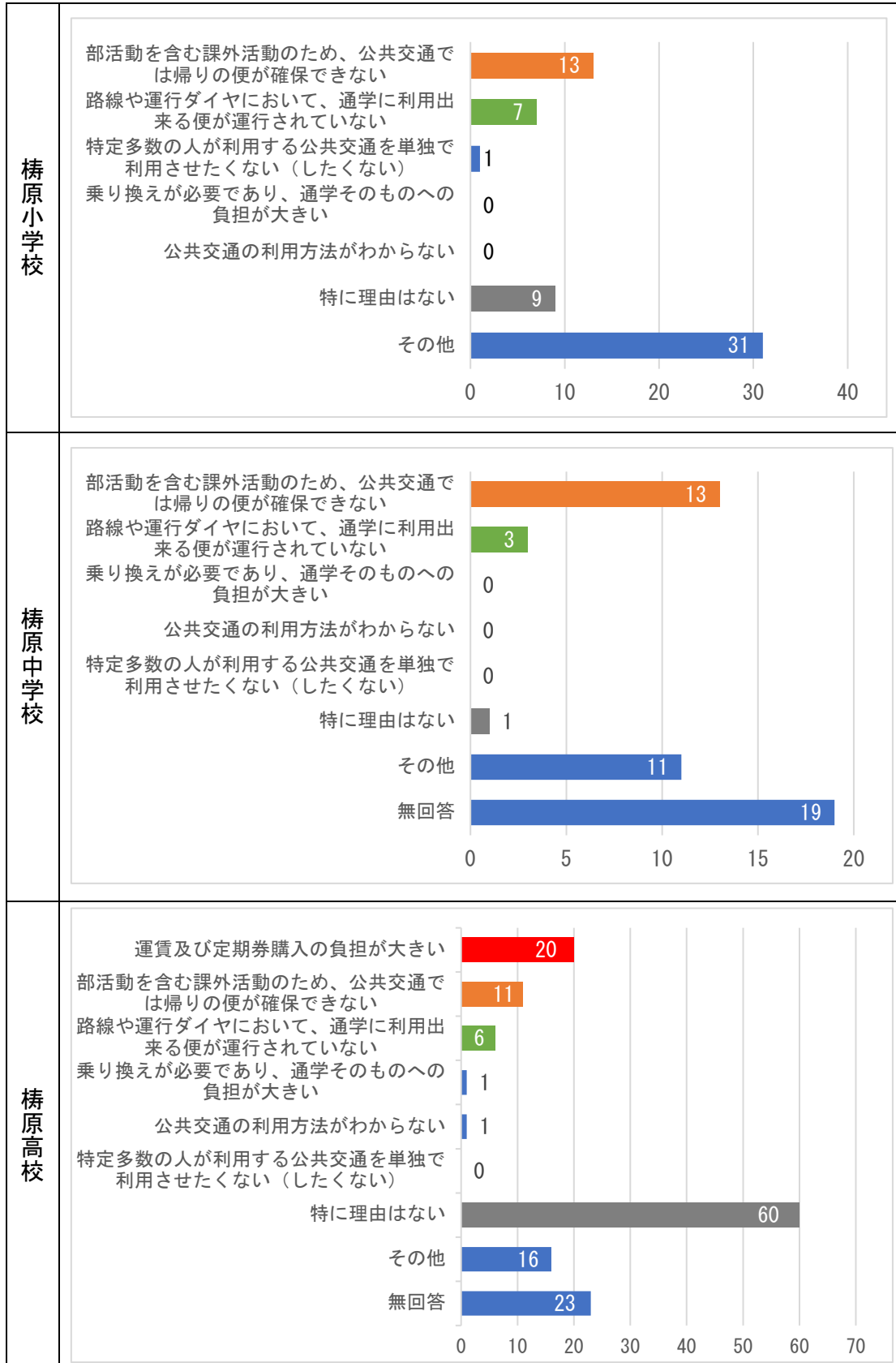


図：晴れた日と荒天時の通学方法〔下校時〕



(2) 通学に公共交通を利用していない理由

公共交通を通学に利用しない理由として、「保護者の送迎」や「部活などの課外活動」を挙げる回答が多くなっている。高校になると「特に理由はない」が最も多くなっている。

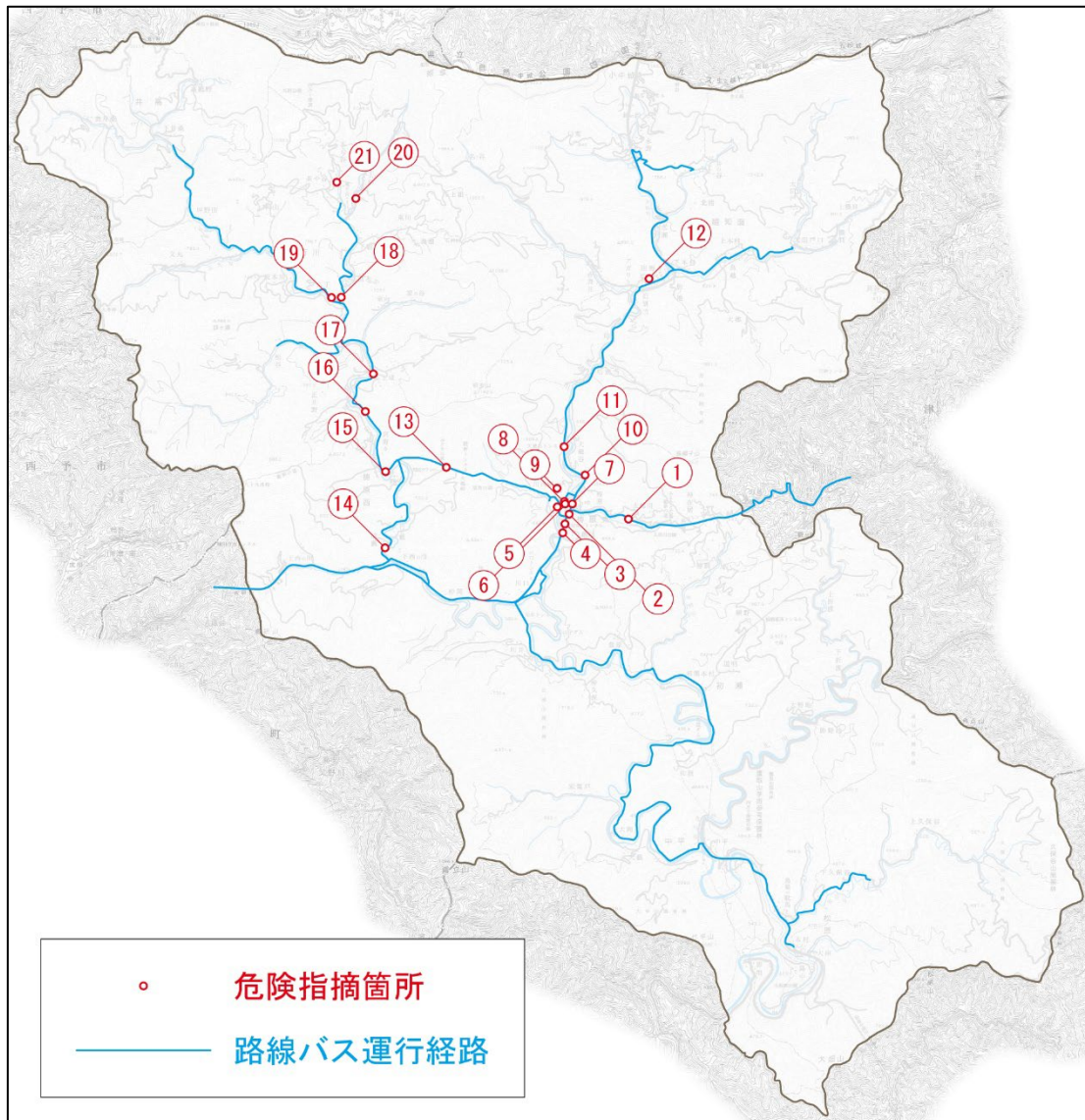


【その他意見】 ※ 重複する意見は省略	
梶原小学校	・自宅と学校が近く、徒歩で行ける距離だから。
	・親の仕事の出勤時間とあまり変わらないので、ついでに送迎できるため。
	・スクールバスを利用する範囲ではない。
	・バスの学校到着時間がギリギリになる場合があり、時間に余裕を持てるよう保護者の出勤に合わせている。
	・家からバス停まで距離があり、工事用大型トラックなどが細い道を通るので、危険な時がある。そのためバス停まで送迎が必要なので、出勤・帰宅時に送迎するほうが負担が少ない。
	・あちこちに停まり、時間がかかるのが嫌みたい。
	・バス酔いしやすいので（竜王線は西の川周りなので余計に）。家からバス停まで距離があり、送迎が必要（工事用大型トラックが細い道を通ってくるので、車のすれ違い時など危険な時がある）。
	・学校の到着時間がギリギリなので、本人があまり乗りたがらない。
	・親の仕事に行く時間、帰宅する時間と同じなので、送迎もついでにできるため。
	・冬場道が凍結したときは通学バスを利用している
	・帰りは祖父母宅に行くため。
梶原中学校	・徒歩圏内でバスを使う距離ではない。
	・利用する距離ではない。部活後は迎えに来るように言われている。
	・学校に着く時間がギリギリなので、バスに乗りたくないとのこと。
梶原高校	・徒歩圏内でバスを使う距離ではない。
	・街灯が少なすぎて怖いから。

(3) 通学途中に危険を感じたことや、危険だと思われる場所について

通学時に危険を感じる場所で、重複する例は集約して整理した。

図：通学時に危険を感じる場所



表：本町で通学時に危険を感じる例（場所を特定しない例）

対象	危険な内容
郊外部全域（特に三嶋神社から越知面方面と大越グランド付近）	・ 街灯が無いため、冬場の帰宅する生徒が危険。 ・ 野球部が部活後に帰宅するのが大変。
四万川地区全域	・ 冬場の道路凍結や積雪時が危険。 ・ 道路が狭くガードレールの無い場所がある。
歩道のある道路	・ 積雪時の除雪を歩道でも行って欲しい。
全域の車	・ 路上駐車が多数。歩行者への配慮がないまま走行している。
路線バス	・ 運転の荒い乗務員がいる。

表：本町で通学時に危険を感じる場所とその具体例（図面と対照）

番号	場所	危険な内容
1	国道 197 号 太郎川地区	・車の速度が速く、バス停への道路横断が危険。 ・バス通学の子どもが心配なので迎えに行く。
2	国道 197 号と国道 440 号の交差点	・車の速度が速い上、両方向がカーブになっているため道路横断が危険。 ・横断歩道を渡る時に停まってくれた車を追い越した後続車に轢かれそうになった。
3	国道 197 号 飯母第一トンネル	・トンネルの中の車が速い。
4	国道 197 号 ミロク工場横	・車の速度が速く、横断歩道でも停まってくれない。 ・歩行者を無視して走行する車が多い。
5	学問坂上付近	・学問坂上の交差点付近を通過する車の速度が速い。道路横断が特に危険。 ・坂の途中が樹木で見通しが悪く子どもが見えない。 ・学問坂下の道路にあるグレーチングが滑る。
6	栲原病院から学問坂 (りき商店前付近)	・多くの保護者がここで子どもを降ろすため交通が集中する。徒歩の生徒も多いことから危険。 ・高校生の自転車マナーが悪い。
7	国道 440 号 郵便局前付近	・路上駐車する車が交通の妨げになる上、歩行者を確認せずに急発進したりする。
8	栲原病院駐車場	・河川敷の駐車場から道路に出てくる車から歩行者が見えにくい。
9	川西路住吉地区	・山道が暗く、とても危険。
10	国道 440 号 三嶋神社から北方面	・三嶋神社を過ぎると街灯がほとんどなく、夜の帰宅が怖い。また、落石をよく見かける。
11	大蔵谷トンネル	・水が流れ出ており滑る。
12	田野々地区周辺	・石垣が崩れていたり、山からの落石が見られる。 ・雨の後に木の葉や枝が道路に落ちており滑る。
13	大越グラウンド付近	・街灯が無く、部活後の帰り道が暗く怖い。
14	竹の藪一下西の川間	・街灯が無く暗い。また大きな落石が見られる。
15	広野地区内の道路	・バス停が見通しの悪いカーブにあり、横断歩道やカーブミラーもない。しかも車は速度を出しているので道路の横断が怖い。
16	上成地区から宮野々 地区への県道	・降雨時に落石がある。
17	上成地区から沖バス 停	・上成地区から沖バス停までの近道が柵がなく、さらに雨で崩れる。
18	四万川交流センター 前	・道路の山側となる栲原方面行きのバスに乗車する時に危険を感じる。
19	杉本商店前	・バスから降りてからバスの発車を待たずに道路横断する児童がいる。
20	中の川地区	・街灯が無く、冬はバス停まで迎えが必要。
21	茶や谷地区	・バス停までの道路のガードレールがない場所で路面凍結時に車が落ちそうになった。

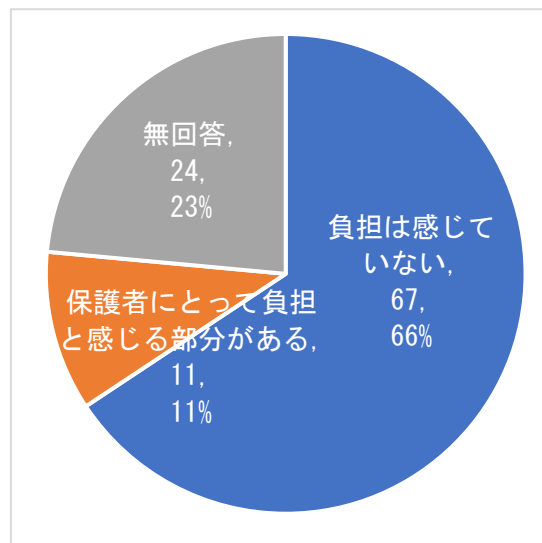
(4) 通学について保護者にとって負担と感じていること

① 梶原小学校

朝の四万川方面からのスクールバス（混乗可能便）が、西の川から小田方面を経由することから利用を敬遠しているという意見が多く、そのために保護者が送迎を行っており、負担感につながっていることが推測される。

図：通学に対する保護者の負担感（梶原小学校）

N=102

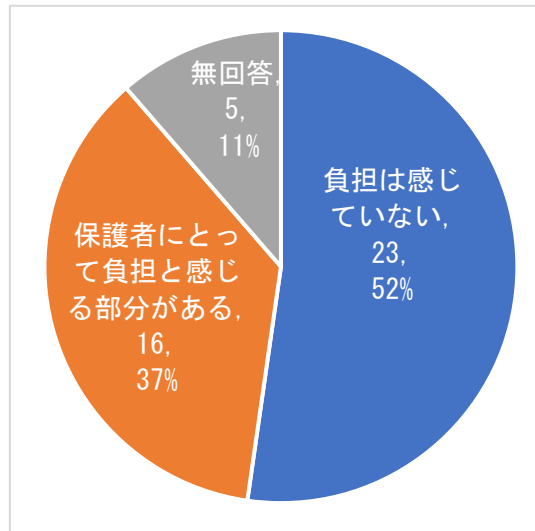


【小学生の保護者】 負担に感じている内容	・車から降りてから学校まで少し歩く距離があるので、荒天時に大変。荷物が濡れてしまったりする。[川井, 1年生, 保護者等]
	・荒天時の送迎（小さい子がいるので）。[飯母, 1年生, 徒歩]
	・過保護かもしれないが、送迎したほうが安心。 [飯母, 2年生, 保護者等]
	・バス（四万川竜王線）が西の川周りになると 40 分近くかかる。それが長い。 [茶や谷, 2年生, 保護者等]
	・学校にバス到着時間が始業時間にギリギリという理由で、車で送迎している。 [越知面, 3年生, 保護者等]
	・委員会の当番の時など早くに連れて行かねばならず、バスの時間では間に合わない。[田野々, 6年生, 徒歩・路線バス]
	・朝や雨の日の送迎。[飯母, 6年生, 徒歩・保護者等]
	・どうしてもバスに乗りたくないかと聞くと、西の川回りになると 40 分近くかかるので乗りたくないというので迎えに行ってしまう。 [茶や谷, 6年生, 保護者等]
負担軽減の提案	・西の川は西の川で、マイクロバスが回ってくればありがたい。 [茶や谷, 2年生, 保護者等]
	・バスの到着時間が少し早ければ。・・・難しいか。 [越知面, 3年生, 保護者等]
	・西の川は子供が少ないのであれば、そちら側はマイクロバスにするなどできないだろうか。[茶や谷, 6年生, 保護者等]

② 梶原中学校

部活動の練習のためや、小学生と同様に遠回りするスクールバス便を敬遠して保護者が送迎していることがうかがえる。

図：通学に対する保護者の負担感（梶原中学校）
N=44



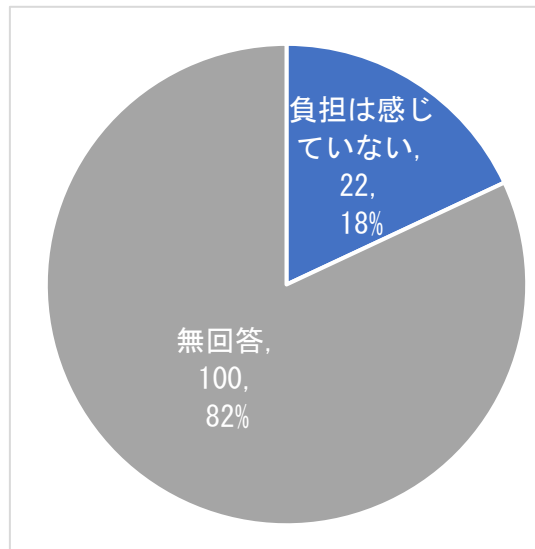
【中学生の保護者】負担に感じている内容	・部活動のため毎日送迎しているが、仕事の終了時刻によっては、学校で30分ほど子供を待たせることになってしまう。[仲間, 1年生, 保護者等]
	・部活動の朝練があるので、それに間に合うように連れて行かなければいけない。[太郎川, 1年生, 保護者等]
	・バスに乗っている時間が長いので、子供たちがかわいそう。7時20分にバスに乗り、学校に着くのが8時で、40分もバスではかかる。 [中の川, 1年生, 路線バス・保護者等]
	・部活動をしていると、下校時は送迎が必須だが、仕事を途中で抜けなければならない。[大蔵谷, 1年生, 保護者等]
	・現在は、部活動の送迎で負担を感じている。 [梶の木寮, 2年生, 路線バス・保護者等]
	・朝は仕事に行くついでに乗せていけるが、クラブ活動が終わるのを待ってから帰るとなると1時間以上も待たなければならない。[茶や谷, 2年生, 保護者等]
	・部活動の送り迎え。時間的に1人では歩かせられないため、1度自宅に帰って再度迎えに行かなければいけない（冬場の凍結など）。 [無回答, 2年生, 徒歩・保護者等]
	・寮のない日の朝練の送迎。晩の部活動後の迎え。[梶の木寮, 2年生, 徒歩]
	・部活動で遅くなった時の送迎。今回のアンケートとは関係ない内容かもしれないが、部活動の練習試合などの送迎が困る（土日仕事が多いので、他の保護者の方をお願いするのも毎回は気が引ける）。[南町, 2年生, 徒歩]
	・朝練に間に合うように連れていくこと。[田野々, 2年生, 路線バス・保護者等]
	・部活動で帰りのバスに間に合わないため、仕事を抜けて迎えに行かなければならない。[六丁, 2年生, 路線バス・保護者等]
	・朝練、夕練の部活動の送迎。[飯母, 3年生, 徒歩・保護者等]

(つづき) 負担の内容	・基本的に徒歩で通学させているので、通学時間になったとき天候が悪いと仕事をやめて送迎しないといけない。[梶の木寮, 3 年生, 徒歩]
	・部活動の朝練に間に合うように連れて行かなければいけない。 [太郎川, 3 年生, 保護者等]
	・負担ではないとはいえないが、我が子のことなので当たり前かなと思う。 [梶の木寮, 3 年生, 路線バス・保護者等]
	・雪が 30 c m くらい積もった時の歩道の雪かき。[無回答, 3 年生, 徒歩・保護者等]
負担軽減の提案	・中学校の部活動に合わせた路線バスの運行（寮が再開するまでの臨時的なものでもよい）。[仲間, 1 年生, 保護者等]
	・バスでの乗車時間が長いのがかわいそうなので、親が送迎している。 [中の川, 1 年生, 路線バス・保護者等]
	・コロナ禍の終息により、寮が再開すれば軽減される。 [梶の木寮, 2 年生, 路線バス・保護者等]
	・クラブ活動の終わり時間はどのクラブも一緒なので、17 時のバスをなくして 18 時半にバスを運行してくれればよいと思う。[茶や谷, 2 年生, 保護者等]
	・冬場暗くなる前の下校時(大会前を除く)。[無回答, 2 年生, 徒歩・保護者等]
	・近くに住む生徒でも自転車通学を許可してほしい。[梶の木寮, 2 年生, 徒歩]
	・スクールバスに間に合う時間に部活動を終えてほしい。 [六丁, 2 年生, 路線バス・保護者等]
	・近場に住む子供たちも自転車通学を許可してほしい。 [飯母, 3 年生, 徒歩・保護者等]
	・天候の変化なので難しい。[梶の木寮, 3 年生, 徒歩]
	・車道だけでなく、歩道も雪をどけてもらえるとありがたいが、難しいと思うので、子供に長靴を履くように説得する。[無回答, 3 年生, 徒歩・保護者等]

③ 梶原高校

学生寮で暮らす生徒が一定数いることが理由と考えられるが、「無回答」が大半であり、残りは「負担は感じていない」となっている。

図：通学に対する保護者の負担感（梶原高校）
N=122



(5) 将来の本町における移動手段確保策について

将来の本町の移動手段確保策へのアイデアとして、最も多かったのが、路線バスの運行回数増加であった。また、道路の整備や管理を願う意見も多くなっている。

将来の本町における移動手段確保策としてアイデアや意見 ※ 同じ内容のものは学校ごとに集約した	
梶原小学校	・ 1日3便では、バスの利用は難しい。運行本数がもう少しあればいい。 ・ スクールバスが通る道が、バス通学以外の子どもでも途中下車できるようになれば便利。 ・ 学校の時間に合わせたバスの運行は現状では難しい。専用のバスがあれば、解消はされると思う。 ・ 近所の子供たちと集団登校になれば、安心して歩いて行けそう。 ・ 皆それぞれ生活リズムがあるから、移動手段もそれぞれになる。定時のバス以外の時間に必要な日時は予約制にしてみてもどうか。そのためのバスは、定時のバスのような大きさは要らないと思う。 ・ 今のようにバスがずっとあれば良いと思う。梶原は車に乗る高齢者も多い。そういった方が免許返納されると一気に不便になるので、学校とは関係ないが公共交通機関やサービスが不可欠だと思う。 ・ 高齢者が増えてバス乗り場まで行くのが大変になる。バスを小さめにして、路線を増やす。 ・ これから高齢化が進んでいくので、家の近くで乗れるタクシーのような手段を、より安くできるように子どもとも考えたが、難しい面も多いと思う。

将来の本町における移動手段確保策としてアイデアや意見 ※ 同じ内容のものは学校ごとに集約した	
梶原小学校 (つづき)	・四万川方面の道路は少しずつ広がっているが、まだまだ狭いところがある。特に冬場は危険なので、道路拡幅をお願いしたい。 ・バス停がある場所とない場所がある。雨天時や積雪時には反対側のバス停で待ち、バスが来たら道路を横断するのが少し危なく感じる。また道路沿いに立って待つため、子供たちの傘が車に対しても危ない。低学年は傘を振り回しており不安。 ・町の中心部は明かりがたくさんついていて明るい、中の川はバス停から家まで真っ暗。 ・松原のトンネルが開通したので、早く通れるようにしてもらって、四万川線も道幅を広くしてもらいたい。冬場、どうしても凍結が怖い。 ・子どもが言うには、「道路横断時に車が止まって通してくれるので嬉しい」とのこと。雨の日はなかなか車が止まってくれない。見えにくいのだろうか。 ・乗る人数が多いのにバスの車体が小さかったり、少しの人数しか乗らないのに大きいバスが来たりしている。人数に合わせて車の大きさを調整したらどうか。 ・部活が終わる時間にもバスがあると助かる。高校でも遅い時間にバスがあるとありがたい。
梶原中学校	・バスの運行本数を増やして欲しい。 ・バスの小型化による運行コストの削減とその分細やかな運行。地域でのコミュニティバスなどの検討。 ・利用者が少ない時間帯は、小型の車にしてもよいかも。 ・スクールバスの充実。各部活動の遠征などにも使用できるように。 ・梶原町は寮もあるし、バスもある。クラブに時間が合わないことは仕方ないが、助かっている。中学3年生の子どもの頃はバス通学させてもらって助かった。 ・特に今は不便を感じないが、将来は人口も減っていき、ますます高齢化が進むので、利用者のニーズに合った移動手段が確保されるよう願う。 ・学問坂交差点では、交通安全での見守りをしてくれていてとてもありがたい。安心している。自分自身は近いので不自由を感じていないが、四万川方面に暮らす人など遠い人は、部活動の送迎が大変ではないかと思う。子供のためと思って、子供との触れ合う大切な時間でもあると思うが。 ・四万川方面の早期道路拡張を願う。ぜひともお願いしたい。 ・悪天候（雨や風が強い）時、車で送迎をする場合、降ろす場所に困っている。屋根がついている場所に降ろせたらと思う。 ・路線バスだと学校に着いてから時間があまりなく、バタバタしてしまうため、自家用車で連れて行っている。
梶原高校	・バスの運行本数を増やして欲しい。 ・学校が休みの日にもバスを運行して欲しい。 ・バスの運賃をもっと安くして欲しい。 ・バスの値段が高すぎるので安くして欲しい。鉄道があればもっと便利になる。梶原町は交通手段が少ないので不便。このままでは若者が将来梶原町に帰ってこようとは思わないと思う。